

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和2年度) 2020

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	8	9	日	9:00	13:00		
活動名称	ボランティア体験 in 五味ヶ谷市民の森					報告者：牛島	

1、活動目的

通常の整備活動に、社協が実施するボランティア体験会場となり、参加者に森の整備を体験させる。申込参加者は17名だが、里山活動の宣伝と、森の大切さを理解してもらうための場とする。

2、活動内容ほか

小澤代表から里山活動の紹介、吉井氏の竹林の価値と効用紹介、安全注意事項を述べて作業開始。ボラ参加者を3グループに分け、ウッドチップ、ハンマーナイフ、草刈りを交代で体験してもらう。安全を第一に考え、コロナや、熱中症の対策を十分に理解したうえで作業する。地主の依頼もあり境界にある竹を5本ほどロープをかけて慎重に伐採した。チップは大方片付いたが、草刈りは半分まで、間伐、伐採まで手が回らなかった。

3、評価：

ボラ体験者が17名と多かったが、けがもなく無事に終わることができた。会員に感謝。ボラ体験者にとっては自然の中での作業と、緑地保存の大切さを感じる貴重な経験となった。作業の時間割り、おにぎり買出しも会員の協力で順調に推進することができた。

4、課題

ボラ体験の指導管理が主体となり、本来の森整備はあまりできなかったが、やむを得なかったか。竹が密集した状態であり、次回には馬力を上げて間伐を完遂していきたい。刈払い機が一部不調で、今後メンテが必要となりそう。キャブクリーナを補充したい。瀧島倉庫の活用について打ち合わせし、次回の藤金整備時に対応することになった。

<ボラ体験者内訳> 高校生10名、中学生3名、小学生1名、親御さん3名

<里山参加会員> 小澤、吉井、佐野、小沼、小澤、柳川、石川、柏木、橋本、室、脇谷、牧野、大森、小嶋、牛島

<活動写真>



